

野田 九条通信

2014年7月 103号

「野田・九条の会」事務局

TEL 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www8.ocn.ne.jp/~paysan>

九条憲のぶち行動



安倍政権が「積極的平和主義」を掲げ、九条を骨抜きにするような集団的自衛権行使容認に突き進んでいます。これまでものように「九条を守ろう」と言っているだけでいいのか、自分の立場をもう一度見つめなおす必要があるように思われます。野田・九条の会の6月定例会では、憲法の「平和主義」について議論しました。

人が平和に生きること、そのために平和な世の中を築き上げていくことが問題であるならば、共同して平和を維持する、そのためには武力の行使を

必ずしも排除しない、という立場もあり得ます。しかし平和主義とは、たとえどんなに崇高な目的のためであっても、それが平和を打ち立てるためであつたとしても、武力・暴力を使わない＝殺さないことです。

議論していくなかで、私たちはこの立場に立っているだろうか、この立場を政策として実践するのはとても難しいが、どのようなことができるか十分に考えてきただろうか、など意見が交わされました。

7月定例会でも引き続き議論を深めていきます。

「閣議決定」で戦争する国にするな！ 6.17 大集会

日比谷公園から国会、銀座 デモ

急な呼びかけにも関わらず、野田から12人が参加、日比谷野外音楽堂には入りきれない人もいて5000人が集まりました。「安倍首相は現場の自衛隊員に本当に戦闘で殺せと言う覚悟があるのか」という元自衛隊員の発言がありました。

今後の集案内などが九条通信では間に合わな



野田からは12人参加

いことがあります。野田・九条の会のホームページにできるだけ載せていきますのでご覧ください。

今月の予定

- 7月6日(日) 10:00~12:00
平和のつどい・のだ 2014 実行委員会
中央公民館会議室
- 7月6日(日) 13:00~17:00
DVD上映会「蟹工船」・意見交換
南部梅郷公民館 南地域九条の会
- 7月9日(水) 17:00~18:00
ボードで9条アピール
秘密保護法廃止シール投票・署名行動
梅郷駅改札前 野田九条の会
- 7月12日(土) 14:00~17:00
野田・九条の会定例会
中央公民館会議室
- 7月20日(日)
平和行進
9:00~10:00 いちいのホール周辺
10:30~11:30 南部診療所~みずき周辺
- 8月3日(日) 13:00~17:00
DVD上映会「ポチの告発」・意見交換
南部梅郷公民館 南地域九条の会

今年も平和と戦争を考える「平和のつどい」を8月16、17の2日間中央公民館で行うことが決まりました。平和を考える団体、個人が参加する実行委員会の主催。野田・九条の会も積極的に参加します。

安倍政権が進める集団的自衛権、特定秘密保護法、教育改変など、戦争へ向かうのではないかと危機感を感じている人が多いのではないのでしょうか。戦争の事実を学び、どうすれば平和な社会を作れるのか、みんなで考える機会

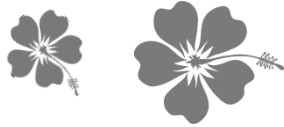
次回実行委員会は7月6日(土) 10時~12時、中央公民館会議室です。ご参加お待ちしております。

元外務省情報局長 孫崎享さんの講演、沖縄の基地の現実を映画で観る「標的の村」、被爆体験や戦争体験のお話、高校生も入って朗読劇、そしていつもの「ぶちやけトーク」等々パワフルに開催します。実行委員はまだまだ足りません。趣旨に賛同する人は個人でも参加大歓迎です。



平和のつどい・のだ 2014
8月16日・17日
野田中央公民館
開催 1階 全体

九条の眼



戦争する国にしない!
したら!許さない!
言い続けていきます!

「風薫る」と言う季語がありますが、そんなのんびりと季節をあじわっている事が出来ないほど沢山の山の問題が山づみの中で迎える今年の初夏です。

私は南方（台湾）で幼児期を過ごしました。過ごすと言うより気が付いたときは小国民の小学生でした。しかし学校へ行った記憶は、数回防空頭巾をかぶって学校に行き、すぐ帰宅したこと、毎日のように夜中には防空壕へ何回も兄と逃げ込んだこと。母は弟4人を連れて逃げ込むため、いつも兄は私を連れて行くのが役目だったのでしょう。沖縄の地上戦が始まる頃は、日本人官舎から山奥へ山奥へと家族2~3世帯で疎開しました。戦争は今でも思い出しただけで震えが来るほど「怖い!」の印象です。決まって夜、B29の音が止むことなく続いていたこと、今でもあの「音」を忘れる事はありません。

山奥へ疎開してからは、あまり激しく聞くことは無くなりました。台湾は、バナナ マンゴウ パパイヤ モッカー 竜眼と果物が沢山あり、山々は緑の濃い大きな葉っぱと鳥のさえずりが山に響くと言う記憶です。大きな蛇に会う怖さはありませんが、そこには



B29はあまり来ませんでした。芋がらやカエル（毎日兄と田や畑でつかまえて調理）が常食でネズミ青虫など食べながら終戦を迎えました。

終戦直後、現地から隠れ隠れ逃げる様に軍属を解く手続きをし、半年後に貨物船の船底に押し込められ一週間がかりで広島宇品港に引き上げてきました。

「内地日本はとっても美しい所だよ」と教えられていましたが、上陸しました広島は何と家一つない原爆の落とされた街でした。広島からはぎゅうぎゅうづめの汽車に乗せられて実家福島に帰郷したのは昭和21年3月29日でした。

さて6月23日は沖縄69回目の「慰霊の日」です。太平洋戦争末期に日本国内で最も苛烈を極め地上戦が行われた沖縄戦で組織的戦闘が「終結」とされる日。県は亡くなった30万近く（県民の4人に1人）の犠牲者を追悼し、恒久平和への願いを確認する日として「県条例」としました。（太平洋戦争末期の地上戦は台湾か沖縄かと言われたそうです。台湾はやや面積も大きいと言う事で沖縄に決められたという話を後で聞きました。）

今年、私は6月の初めに兄夫婦と沖縄に1週間ほど行ってきました。（兄の子ども・甥っ子家族が福島原発の放射能を恐れて沖縄へ永住。）基地めぐりもしました。嘉手納基地→京都の塔・普天間基地…オスプレイが30基も停泊→ジェット機墜落事故宮森小学校現場見学→新基地予定の辺野古を見て来ました。見学の日が日曜日と言う事もあってオスプレイは静かにしていたとのこと…。しかし街にあふれる米軍の家族（車のYナンバー）が横柄に行き来していました。

翌日、甥っ子の子どもの運動会を見学。何と昼時はオージーオーバー親類縁者で円陣となり、ゆたかな食材、子どもを大切に作る大家族の姿を見ました。懐かしい!昔、本土もこんな豊かな風景があったなー!と子等を、抱きしめて胸がいっぱいになりました。

武智多恵子



平和の礎